

日本の太鼓や踊りの鑑賞・体験



実施
学校名

東京都立足立特別支援学校

日時

令和6年11月27日（水）

場所

体育館

プログラム 概要

- ・民族歌舞団の方を講師に迎え、「和太鼓」などの演奏と日本各地の「民舞」を鑑賞しました。
- ・生徒は、演奏や踊りに合わせて、合いの手や掛け声を送り、お祭りの雰囲気を楽しみながら日本の伝統芸能を学びました。
- ・代表生徒4名が舞台上がり、講師と一緒に太鼓の演奏を体験しました。

体験風景

1 演奏鑑賞



篠笛や大太鼓、締太鼓などを使った、水口春まつりのお囃子が演奏されました。
生徒は、リズムに合わせて体を揺らしたり、手拍子をしなが「和」の演奏を楽しみました。

2 獅子舞



縁起物である獅子舞が、会場を練り歩き、生徒の頭を噛んで回りました。
獅子舞が登場すると、驚いて逃げる生徒もいましたが、多くの生徒が、頭を噛んでもらい、厄を払いました。

3 民舞鑑賞



荒馬踊りや花笠音頭、虎の舞などの民舞が披露されました。
荒馬踊りでは、生徒の「らっせ、らっせ、らっせーら」という元気な掛け声が響きました。

4 太鼓演奏体験



講師と一緒に代表生徒4名が大太鼓を叩き、ソーラン節を演奏しました。また、演奏に合わせて講師が踊り、生徒は、演奏後に大きな拍手を送っていました。

参加した 生徒の声・ 反応

- ・友達や先生たちと「らっせーら」の掛け声を大きな声で言えて、とても楽しかったです。
- ・ステージで太鼓を演奏するのは初めてで緊張しました。でも、上手にたたけてよかったです。
- ・獅子舞の動きが怖かったけど、面白かったし、キレがあってカッコ良かったです。
- ・ソーラン節は、中学生の時に踊ったことがあり、それを思い出して、とても懐かしかったです。
- ・近くで鑑賞すると、太鼓の音が大きくて迫力があり、すごかったです。